日が 行い挨 わ桂拶 れ子に た市立議議つ 長はた 選 出13ま

話のさ

ま



席回復への それぞれ。 それぞれ。 いて 日 選援本 明へのれが近 の報告を対 をたたえ合 4 1 交 合取 年参 流 1) 組間加 会 を 兼 21 張 お の者 おみの者互に議は ね日総

意政む新政すかをな でのん 支動ま信いしさ後確喜だまをが頼取、私援認び共 さ後確喜だ参を策こ市再るれ報 ん援認び共加語をと長建事た告 のた紹いをり4は会しを産者 りおなとの 市 当努支介桂築組年主長で大党はましど共期さ議選力持し子きみ間解のいき市、し進、に関ら会 選力持し子きみ間催のいき市 し進 に間ら会市営 さあでの者筒まな議待ため掲取短にを民の 経たのそんげ絶辛を井し拍当ち るげり縮は実に経 緯まみれのた大抱代勇た手選望 決た組を財現開緯

出じ高取は「会た杯

しな齢り私共長年の

切がに組の産の金挨

た最りで涯の浦組に思後限あを議守合

し乾で力をたけ回ん後立た杯すを咸。た有け揺っ

つらなみ生党

こいの界つか席さ内

لے

0)

音

頭

をとりま

たルやに4歳んの民夕仲。がそ、年会か清え張問 年会か清ネ張間産た杯すを感後にら野ッ川、廃 。のこ出じ う今後にら野ッ川 っさトの夕の かの届 れとら再け住んワ水張反 熱仲選て民やし いい間をほの松ク守口運 まエを視し声木代るン動 | 増野いをさ表市との

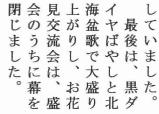
をもなを活くな強表治

とんえをが頼取

に声いに た懐爆さ緒のう 援ひ自力声かつ とに伴しま と信ラをし許し のオ響あケか すや夕で滝 を 次なものしいなへふとさ歌 々のなどたうど原る

たを故と扮新 テ を題し井 うし っさ けて原ん部 て福発がで 演 原島流旅は ľ 発原れ芸清 ま廃発旅人陵 止事 にの

た復は援つ祝



くまがいさんの当選で

まさに、さくら咲く!





ごで、楽しく和やかに交流し合う参加者

を学ぶ会が、5

鉱月

旧 22

張の歴

史

文

でなく札 だけ

П

見学会」を開 炭夕張

業の経験



旧北炭夕張第2鉱坑口(通称ラッパ坑口)を見学する参加者

族連れなど35人が参 でなく札幌からの家 加。案内は、元北炭で いていた安部 元石炭博 物 秀一 館 後の水を池にため 碑」や沈殿上げ(洗炭 ついで登ったことや、サ 懐かしく語り合ってい 社の階段をお神輿か 元館 参加者は、まず夕 矢野さんからは、 社前に カスなどの思い出を 長 鉱労働者遭難 の 矢 拓 記念館学芸 集合し、 夫さん 神 みだったんだね」との でもまったく同じ

タれ恵に天 張、まも気

死んでいたと父から聞 ために坑口を密閉し 死亡の悲惨な事故の 天竜炭鉱での161名 見学。安部さんから、 く紹介されました。 た。避難してきた坑夫 粉炭として使用) 「爆発後、石炭を守る その後、歴史村内の 折り重なつて入口で ホロカベツ川 沿いに が語られました。 などくわ があった場所などを見 坑、長良抗など抗上坑、千歳坑、最 り合っていました。 き姿ではないかと、 0 どコミュニティのあるべ を集団の中で守るな 人の命を守る、弱い 運 語 午後は、一鉱の、 命を守るためには 命 られ、地域全体 共同体で、 自 口上北 語 他 分 が

長 0) 谷 隆 文さん、 また

どの人たちで、「炭鉱は下請け、孫請けなでも作業員の犠牲者 今回の福島原発事故った」と話されました 優先 会社の人命軽 死亡の新鉱事 の操業があ

屋 が漏れていました。 での生活の様 昼食の時には、 子 が長

られた」など話されま 名前(坑内で一番怖い 水にちなんで)が付け いた」「各坑には、川の は火であったため、 手を合わせてい 参加で、炭鉱の歴史のともつと多くの人の 楽し と、話していました。 ることを願っています を後世に語り継がれ 秀一さんは、「本当 今回案内役の安部 い一日でした。も

さましょう!



地方自治は民主主義の学校

ただきました。 13日の臨 時議会には、たくさんの市民の方にお越しい

仕

組

60の傍聴席では間に合わず椅子を30脚ほど出し、 、それで

もたりずに立ち見や、入れなかった方もいたそうです。 議会が始まる少し前に議場に入ると、まず、拍手。そして議

られました。 が選出されると傍聴席からはたくさんの市民の声が発せ

をこの議長選挙から」というものでした。 集められ、議会事務局に届けられていました。 署名の内容は、「夕張市議会の抜本的改革を。その第1 今回の議長選挙をめぐり、数日の間に300人もの署名

炎えるよりも、時間をかけて論議を」という意見が多数を占 、これまでどおり。 今回は議員間で協議の結果「議会改革は必要だが、拙 速

が数人から出されました。 議会や地方自治のしくみについて学習したい」という意見 その1週間後に開催されたゆうばり再生市民会議では

き出した!」その思いで胸が熱くなりました。 '住民の声で動かす議会を"―「いよいよ市民が住民自治へ動 4年前から訴えてきた『住民自治で夕張再生を』、そし

り、今後もみなさんと共に学び、運動を続けたいとワクワクし います。 私たちの手で、私たちのためのよりよい夕張市をつくってい …地方自治は民主主義の学校である…という言葉のとお